

かもめの会流マスクの作り方

2020年5月31日

用意するもの

用具

- 1) はさみ
- 2) ものさし、巻き尺など
- 3) ペン
- 4) 針、待ち針
- 5) 直径 25 から 27 cmの皿（大人サイズです。）

材料

- 1) 布（自分が選択した皿より多少大きめのもの）分厚いと息苦しい。
- 2) 古いパンティーストッキングまたは、幅広のゴム
- 3) 裁縫糸（ミシン用糸の場合、2重にして使う。）

作り方

- 1) 布の上に皿を置き、ペンで型をとり、はさみで裁断します。
- 2) 丸く切り取られた布を二つに折り、ずれないように待ち針を打ちます。



- 3) 直線部の折り目を、はさみで切ります。

- 4) 位置がずれないように打った待ち針をとりさり、布の表面が内側に向き合っているか確認します。



- 5) 半円部の一部を布縫合後の反転用の引き出し口とするため、ペンで印をつけます。この部分は、反転後に縫合します。



- 6) 印をつけたら、縫合するために、待ち針を打ちます。

- 7) 針に糸を通します。ミシン糸の場合は2重にするとよいです。

糸通しに便利な、糸通し器があります。

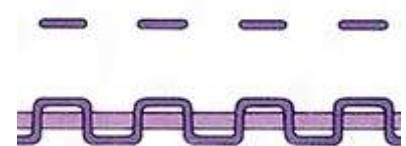
スーパーでも市販されているそうです。



- 8) 縫い代を5mmほど取り半円の外周に沿って縫っていきます。(運針縫い)

縫い始めと縫い終わりは、縫い返しをし丈夫にします。

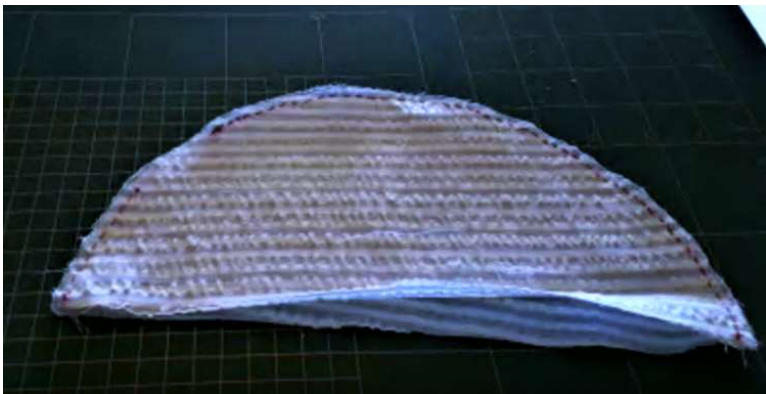
注記：運針縫とは、手縫いの基本になる縫い方の一種。



針目の断面図

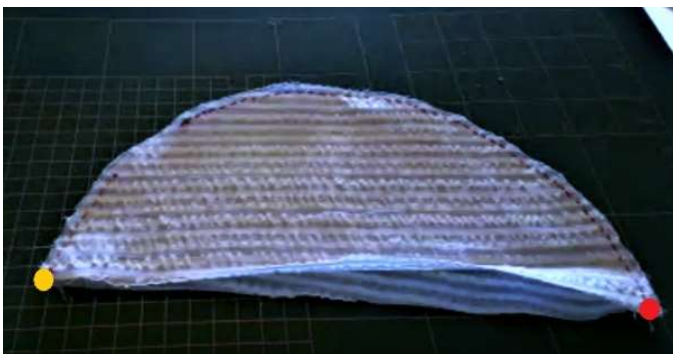


9)途中、「しごき」縫いちぢんた部分を伸ばします。



10)裏返し用の開口部を残し、運針縫いで縫い終わった状態。

11)次に、赤と黄色で記された角を合わせます。





12)合わせた角の両脇を縫合します。8)の時と同様に、運針にて5mmほどの縫い代を残し、縫い進めていきます。

この時もやはり、「しごく」ことを忘れずに！



13)縫い終わった状態。裏返すための開口部が縫合されないで残っています。





14) 開口部より内側と外側をひっくり返します。

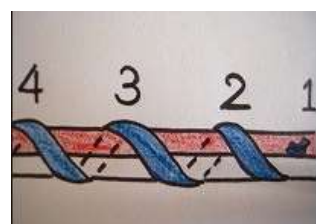


15) 反転し終わったら、待ち針で縫ってある部分を引っ張り出し、形を整えます。



16) 開口部の形を整え、篝縫い（かがりぬい）でふさぎます。

注記：かがり縫いとは、布の端を巻きこむようにして縫う方法です。





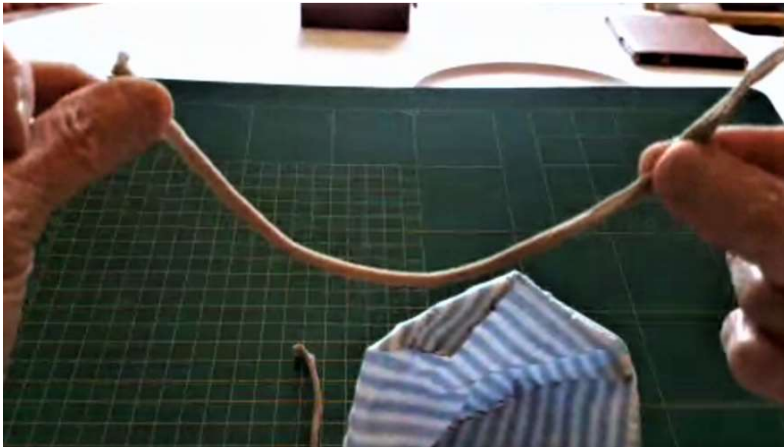
17) 箒縫いで閉じられた反転用開口部。

アイロンを縁にかけ、形を整えます。

18) 耳にかける紐の作成

耳当たりの良いのは、使い古しのパンティーストッキングを再利用したものです。 ウエスト部の厚くなったところを3センチほどの幅で、20センチほど切り取ります。





19)切り取ったものを「しごく」と丸いひも状になっていきます。

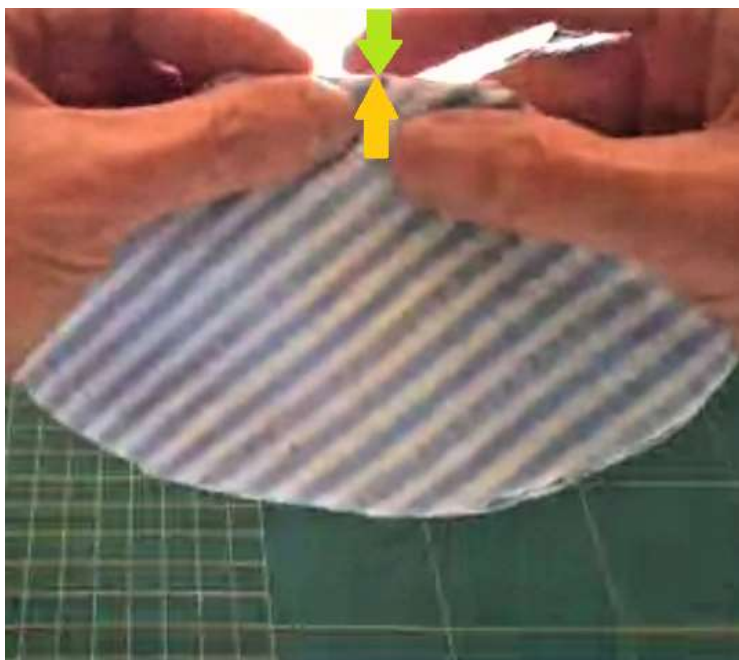


20)さらに「しごき」大体伸び切った状態にします。(耳にかけたときにたるまないように。)



21)準備した紐を通すための部分を作ります。

2センチほど折り返し、紐を通す穴の部分を約1センチとり、待ち針で留めます。



22)片側ができたなら、形を左右揃えるため、マスクを折り合わせ、紐を通す折り返しと同じ大きさになるよう揃えます。

同じ大きさに折り返しができたら、21)同様に篝縫いで縫い付けていきます。



23)紐を通します。

自分で作った紐でも、市販のゴムバンドを使用しても構いません。



24)紐を通し結んだ状態。

結び目は、紐通しの折り返しの中に回し込むと、見た目がすっきりします。

反対側も同様に行います。

25)完成！

参加された皆さん、色とりどりのマスクが出来上がりました。ここに、可愛い作品をご紹介します。

